

## 八海山滑落事故の概要と今後の予定について

平成27年8月4日14:55頃、NPO法人六日町観光協会が主催する「コシヒカリの郷子ども自然体験村（12泊13日コース）」の参加者〈埼玉県内小学5年生・女子〉が滑落しました。場所は、八海山6合目（女人堂）から約10m下った登山道（幅約60cm）で足を踏み外し、谷側に約100m転落。

⇒怪我の状況は、腕や足に骨折はなく、右頭部の打撲裂傷で約4週間の安静が必要とのこと。

滑落直後の対応は、引率の大人と非番でボランティア協力してくれた消防署員2名の3名が現場へ急行し、消防にヘリコプター要請するよう指示を受け119番通報しました。

ヘリによる引き揚げ救助を行い、16:20魚沼基幹病院に搬送、治療していただきました。

ヘリが到着するまでの間、署員2名が現場で怪我人の止血処置などの応急手当てを迅速に行っていましたので、最悪の事態にならなかったものと思っています。

今後、体験村の残りのスケジュール（8月14日まで）は、継続する予定です。怪我をしたお子様のご両親からは、中止にするようなことはしないで下さいとの言葉をいただいていることと、残り期間のスケジュールを予定通り進めていくことで他の子ども達の気持ちを和らげてあげることができるからです。

また、8月16日から開催する「どきどき6泊コース」の八海山登山（8月21日予定）は中止して他のプログラムに差替えます。内容については宇田沢川での川遊びを検討中です。今後は、それぞれのプログラムの内容をもう一度安全確認して、このような事故を起こさないように一層の注意喚起を行ってまいります。

今は、お母さんの顔を見ることができて元気とのことと安堵しておりますが、重大な事故であったことは充分承知しております。今後、すべてのプログラムにおいて事故につながらないよう、細心の注意をもって対応するように致します。

平成27年8月6日

特定非営利活動法人六日町観光協会

事務局長 青野広明